

登録コード	MA008500	開講年度	2026			
授業科目名	周麻酔期看護学演習				担当教員	田中 聡
英文授業名	Practicum in Perianesthesia Nursing				副担当	石田 高志・伊藤 真理子・石田 公美子・田中 竜介・丸山 友紀
単位数	2	講義期間	後期	曜日・時限	不定期	
講義室			授業形態	演習	授業科目区分	(周麻酔期) 必須科目
信大コンピテンシー	非該当					
(1)授業の達成目標	【ディプロマ・ポリシー】授業で得られる「学位授与の方針」要素					
	MS 2 6 カリ(医科学)・医科, MS 2 5 カリ(医科学)・医科, MS 2 4 カリ(医科学)・医科, MS 2 3 カリ(医科学)・医科					
	【医科学】基礎医学および臨床医学に対する基本的知識、技能および技術を修得し、自主的に検討することができる。				周術期看護の問題点をあげ、問題解決にむけた研究計画を立てられる。	
(2)授業の概要	周麻酔期看護に関する事例を通し、看護実践上の問題として課題研究のテーマとして具現化し、研究計画を立てることができる。 担当教員の麻酔・周術期医療の経験を活かした授業を行う。					
(3)達成目標（一般学習目標 G I O）	文献購読，学会への参加，周麻酔看護師の看護実践の見学を通し，周麻酔期看護を取りまく課題を明らかにし、研究計画書作成の方法を習得できる。					
(4)達成目標（個別行動目標 S B O s）	周麻酔期における看護実践上の問題を明確化し，課題研究のテーマとして具現化する方法や手段を用いることができるようになる。					
(5)授業計画	授業日程は受講学生と相談の上決定する。 第1～2回：周麻酔期における看護ケアに関する問題点や課題を文献等や各自の経験をもとに抽出する 第3～7回：周麻酔期看護について文献購読とクリティークを行う。 第 8 ～15回：課題研究に向けた研究計画を立てる					
(6)授業の進め方	プレゼンテーション、ディスカッションで進める					
(7)履修上の注意・事前事後学習の内容	毎回 1 時間程度は予習、復習時間を取り、毎回、前回の授業での指摘を修正して臨む。					
(8)成績評価の方法	ディスカッションとプレゼンテーション各50%とする。					
(9)成績評価の基準	研究計画書あるいはディスカッションでの内容について、 (i) 研究テーマ等問題の設定が適切であり，(ii) その問題の背景を説明できており，(iii) その問題にどのような課題があるのかを指摘できており，(iv) それらの課題に対して既存の学説が提示する解決法が適切に把握できており，(v) その上で自分の見解を提示できており，かつ，教員を感心させるレベルにあれば「卓越している（秀）」。(i) から (v) の 4 項目を満たしていれば「かなり上にある（優）」。 4 項目までできていれば「やや上にある（良）」。2 項目までできていれば「水準にある(可)」で基準とする。					
(10)学生へのメッセージ並びに質問，相談への対応	質問、相談については適宜対応する。メールも可能。 麻酔科代表：masui@shinshu-u.ac.jp ・周麻酔期看護学学生対象科目 * 内容が変更になることがある。					
【テキスト，教材，参考書】	後日，提示する。					